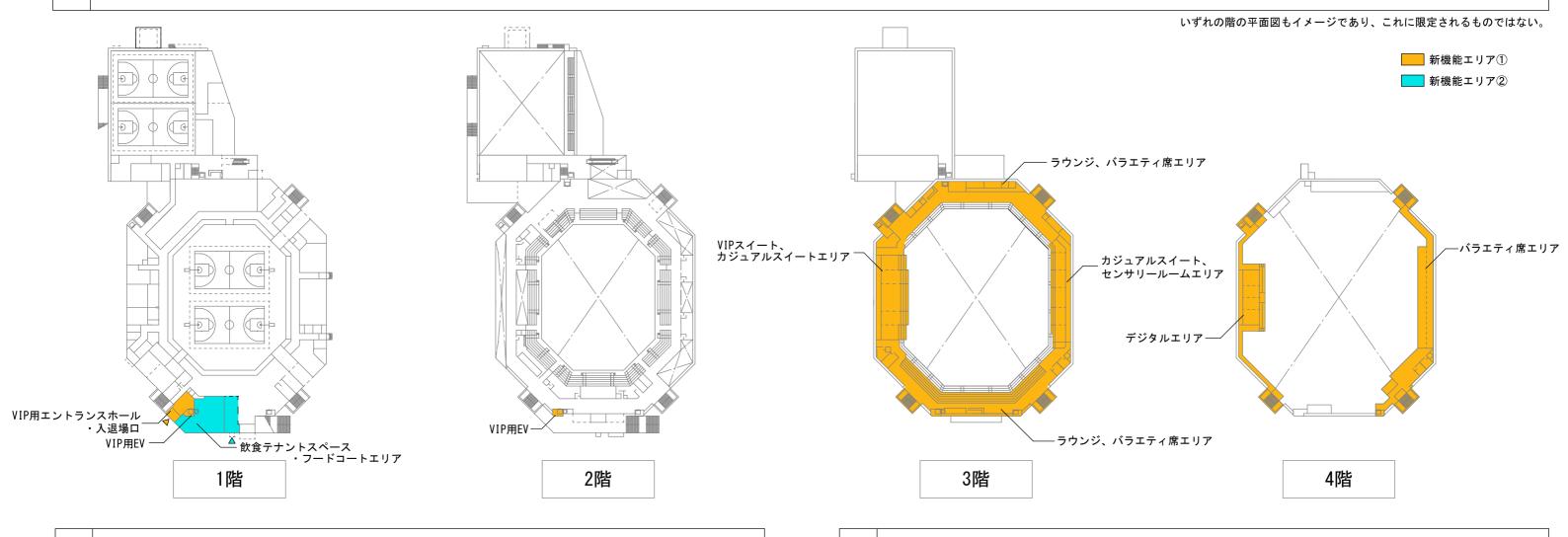
1 次の図は、「図表3-2-1 既存機能と新機能」に関して、新機能部分を模式的に表現したものです。



2 新機能とする諸室等は、「別紙11 各室条件表」記載の諸室のうち、次に掲げるものに限ります。

諸室名	各室条件表の関連する部分	配置上の留意事項
) 付加価値の高い観客席エリア)
VIPスイート	別紙11No.50/別紙13⑥	
カジュアルスイート	別紙11No.51/別紙13⑥	
付帯席	別紙11No.52/別紙13⑥	(既存機能エリアからの分離)
バラエティ席	別紙13⑦	①新機能は、既存機能エリアの中に点在させないこと 左表で新機能として示している諸室であっても、即 機能エリアに点在する場合は既存機能と見なすこと
ラウンジ	別紙11No.53	
センサリールーム	別紙11No.54	- (新機能の平面上の連続性)
パントリー	別紙11No.55	□ ②新機能は、同一階にまとめて配置するなど、平面的 ■ 連続させて配置すること。
本エリア利用者用のトイレ、エレベーター、 階段、通路、機械室、関連諸室	-	③やむを得ず同一階に既存機能と新機能を配置する場は、壁、建具等で物理的に分離すること。
2) デジタルエリア		(新機能の立面上の連続性)
メディア席	別紙11No.58] │ ④新機能は、立体的に積み上げるようにして連続させ 」 │ 配置すること。
ENG スペース(カメラポジション)	別紙11No.59	
中継カメラスペース(カメラポジション)	別紙11No.60	□ (新機能の運用上の独立性)□ ⑤上記①から④のように平面的に又は立体的に、若しは平面的かつ立体的に独立された新機能には、それれ専用の出入口を設け、独立して運用できること。なお、1階に配置する飲食テナントスペースは独立
放送室/コメンタリーポジション	別紙11No.61	
コントロールルーム	別紙11No.62	
本エリア利用者用のトイレ、エレベーター、 階段、通路	_	た出入口を設けることで独立性を確保できるため、 の新機能と連続させる必要はない。
8) その他		
飲食テナントスペース、フードコートエリア	別紙11No.79~86	
VIP用エントランスホール・入退場口	別紙11No.57]

3 左表の各要件に基づいた計画イメージ(一例)は次のとおりです。

